

Green Brave

#52 埼玉 GB GR Supra GT4 EVO2

2025 年 4 月 26 日 (土) ~ 27 日 (日)

BRIDGESTONE

Super Taikyu

Japanese Endurance Race

ENEOS

ENEOS スーパー耐久シリーズ 2024 Empowered by BRIDGESTONE 第 2 戦

SUZUKA 5 時間レース 鈴鹿サーキット (三重県鈴鹿市)

■ 荒れたレースに臨機応変に対応し予選 2 位から逆転優勝 ■

決勝結果 (ST-Z クラス)

#52 埼玉 GB GR Supra GT4 EVO2

(山崎 学 / 吉田広樹 / 服部尚貴 / 野中誠太)

決勝: 1 位 (119 周、5 時間 00 分 48 秒 860)

予選: 2 位 (合算タイム: 4 分 20 秒 035)



第 2 戦のレース時間は 5 時間。土曜日 (予選日) の天候は晴です。

A ドライバーの予選は 14 時 26 分から行われ、山崎選手がコースイン。2 周目に 2 分 10 秒 500 をマークし、トップで予選を終えました。続く B ドライバーの予選は 15 時 30 分から行われ、吉田選手が 2 分 09 秒 535 の 2 番手タイムをマーク。両ドライバーの合算タイムにより、予選 2 位につけました。トップは同じ GR Supra GT4 EVO2 を使用する 885 号車。52 号車が 30kg のウェイトを搭載しているのに対し、885 号車は 15kg と軽く、速さが足りない状況です。予選後、決勝に向けてのミーティングが行われ、チームは #885GR Supra の前に出るための複数のレースプランを作成。ピットでは店舗メカニックによるピット作業練習が繰り返し行われました。

日曜日 (決勝日) の天候も晴。チームはスタートドライバーに吉田選手を起用。レースの状況を見ながら服部選手につなぐ計画です。吉田選手は #885GR Supra に次ぐ 2 位をキープして 1 周目を終了。つかず離れず走行しますが、18 周目に導入された FCY (フルコースイエロー) のリ

スタート時、#22 ポルシェに抜かれて 3 位に後退します。23 周目、#22 ポルシェが #885GR Supra を抜いたため、再び #885GR Supra を追う展開に。吉田選手は集中力を切らさずに周回を重ねますが、23 周目、25 周目、29 周目と立て続けに FCY が導入され、当初の予想ほど、周回数が伸びません。35 周目に #22 ポルシェ、40 周目に #885GR Supra がピットに入ったため、吉田選手はトップへ。吉田選手も翌周、ピットに入りますが、当初の計画を変更し、山崎選手に交代。第 1 戦の Race1 と同じく、3 番手の服部選手のステイントをショートにし、全体のピットイン時間を短縮する作戦です。山崎選手は給油とタイヤ 4 本交換を行いピットアウト。事前の準備をしっかり行っていたため、スタッフ全員がノーミスで作業を終えています。

コースに復帰した山崎選手の順位は 2 位。トップは #5GR Supra で、#885GR Supra は山崎選手の 3 秒後方を走っています。#885GR Supra には B ドライバーが乗っており、44 周目に山崎選手と #5GR Supra を抜きトップへ。翌周、山崎選手も #5GR Supra を抜きますが、トップとの差は大きく広がっていきます。73 周目、A ドライバーの乗車義務時間をクリアした山崎選手がピットイン。この時点で #885GR Supra との差は 1 分ほどです。服部選手に交代し、給油とタイヤ 4 本交換を行ってピットアウト。店舗メカニックの素早い作業が場内モニターに映し出されます。コースに復帰した服部選手の順位は 2 位。トップは変わらず #885GR Supra ですが、80 周目にピットインを行い、両者の差は 13 秒まで縮まっています。服部選手は 11 周走行した後、84 周目にピットイン。野中選手に交代し、作戦通り、短い給油のみでピットアウトします。コースに復帰した野中選手の順位は 3 位。トップは A ドライバーが乗る #885GR Supra、2 位は #22 ポルシェですが、どちらも最後のピットインを残しており、野中選手に有利な状況です。91 周目、#22 ポルシェのピットインにより 2 位へ。野中選手はユーズドタイヤで走行しており、余裕のある状況ではありませんが、1 分以上あった #885GR Supra との差を、みるみるうちに詰めていきます。112 周目、#885GR Supra がピットイン。C ドライバーに交代しますが、差は 45 秒近くまで広がり、十分なマージンを得ます。野中選手は抜群の安定感を見せ、トップチェッカー。チーム力で逆転に成功し、開幕戦の Race2 に続く、2 連勝を飾りました。



DRIVERS VOICE

山崎 学選手

このレース展開は想定していたので、その通りに乗る順番が変わりました。チームが用意した作戦に幅があり、準備もしっかりできたので、このような結果につながりました。自分のペースには用心しすぎている部分もあり、ちょっと不満もあるのですが、チームの作戦と他のドライバーの本当にプロフェッショナルな走りに助けられました。今日はここにいるだけで勝たせてもらったという感じです。今回の優勝でさらに重たくなりますが、次の24時間はなんとかこらえて勝ちたいと思います。

吉田広樹選手

予選1位の885号車についていたかと思っていたのですが、FCYが結構入って、リスタートのたびにポルシェが来て、最終的には抜かれてしまいました。全体的な流れを見ると885号車についていくのがポイントかなと思っていたので、最後まで1秒差ぐらいで走ることができ、良かったと思います。チームの作戦とメカニックのタイヤ交換が本当にうまくて早く。それに加えて、他のドライバーのみなさんが各々の役割をしっかりと果たしてくれたので、そのおかげで前に出られたのかなと思います。

服部尚貴選手

FCYがたくさん入る中、臨機応変に作戦を変え、チーム力で勝利できました。全クラス同時に走っていますから、FCYが多くなるのはしょうがなく、それも頭に入れて走っていました。コース上の速さというよりも、レースの作戦とピットのタイヤ交換も含めてすごく速かったもので、そういう部分で逆転できたと思います。次の24時間はかなり重たい状態でのレースになるので、今もみんなはどうしようかと考えているぐらいです。24時間をとらないとタイトルは難しいので、次も勝ちたいです。

野中誠太選手

とにかく最初はプッシュして差を縮めて、プレッシャーをかけたかったのですが、特に頑張りました。先の見えない相手との間に1分以上の差がありました。どんどん縮まっていくことで自分のテンションもあがり、最後まで走れました。もちろん、タイヤはどんどん苦しくなりましたが、それも想定内でした。落ち着いてドライビングを合わせることができ、いい走りことができました。次戦はさらに性能調整が厳しくなると思うので、ミスのないように走り、また優勝できるように頑張りたいと思います。

ST-Z クラス 決勝結果

順位	チーム	周回数
1位	#52 埼玉 GB GR Supra GT4 EVO2 (GR Supra GT4 EVO2)	119 周
2位	#885 シェイドレーシング GR Supra GT4 EVO2 (GR Supra GT4 EVO2)	119 周
3位	#22 EBI GROUP Cayman GT4 RS CS (ポルシェ ケイマン GT4 RS CS)	119 周
4位	#26 raffinee 日産メカニックチャレンジ Z NISMO GT4 (日産 Z NISMO GT4)	118 周
5位	#25 raffinee 日産メカニックチャレンジ Z NISMO GT4 (日産 Z NISMO GT4)	118 周
6位	#21 Hitotsuyama Mercedes-AMG GT4 (メルセデス AMG GT4)	118 周
出走 12 台 トップ 6 まで		

ST-Z クラス ポイントランキング

順位	車番	チーム	ポイント
1位	52	埼玉 Green Brave	64
2位	885	SHADE RACING	51.5
2位	26	TEAM ZEROONE	47
4位	25	TEAM ZEROONE	27
5位	21	Hitotsuyama Racing	23
6位	34	TECHNO FIRST	20
上位 6 位まで			

次戦予告 5月30日~6月1日 富士スピードウェイ (静岡県小山町)

Green Brave PARTNERS



赤城車体工業株式会社



株式会社アルシェ



株式会社エイテック



株式会社 FM NACK5



株式会社岡崎巧芸



株式会社カーグラス・JP



埼玉群スリーボンド株式会社



株式会社三和広告社



JU 埼玉オートオークション株式会社



株式会社西武ライオンズ



ティーズ・ワークス



株式会社デンソーソリューション



東京麒麟ビレッジサービス株式会社



トヨタホーム東京株式会社



トヨタモビリティパーツ株式会社 埼玉支社



富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社



有限会社 MY CARS



マックメカニクスツールズ株式会社



丸和工業株式会社



Mechanix Wear LLC



株式会社リバイバルマネジメント



株式会社リビコー